

平成 30 年度第 5 回江南市図書館基本計画策定委員会議事録

日時 平成 31 年 3 月 7 日（木） 午前 10 時～午前 11 時

場所 消防署 3 階 講堂

出席委員 12 名

伊藤 由香	愛知江南短期大学学長
滝 紀彦	江南商工会議所専務理事
小塚 昌宏	江南市社会福祉協議会事務局長
伊藤 鶴吉	江南市社会教育委員会委員長
加藤 雅子	P T A 連合会会長
伊藤 真理	愛知淑徳大学教授
大川内 元男	市民代表
三輪 陽子	市民代表
柴沼 清子	図書館ボランティア
中嶋 康子	図書館ボランティア
辻中 憲一	図書館館長
早川 由美	古知野南保育園長

欠席委員 3 名

山崎 昇暉	元成人の集い実行委員長
松本 秀樹	古知野西小学校長
鵜飼 明美	古知野西小学校図書館司書

議事

*事務局の発言のうち本市を「市」、図書館流通センターを「TRC」と表記する。

1. 委員長あいさつ

2. 協議事項

(1) 江南市図書館基本計画（案）に関する意見募集（パブリックコメント）の実施結果について

【資料説明】

事務局（市）が資料を説明

【質疑、意見等】

委員：以前の基本計画（案）にあった会議室は、イベントルームに室名が変更となったのか。

事務局（市）：複合施設の交流スペース内の会議室と室名が重複するため、イベントルームに変更した。

委員：映像機器等を備えるイベントルームが設置されるのはありがたいが、50 m²では狭いのではないかと。100 m²程度であれば、大規模な講演会や若者のダンス練習など、幅広い用途で

利用可能だろう。市民にとって利用しやすく、市民同士の交流も可能な空間としてほしい。

事務局（市）：読み聞かせなどの行事はイベントルームでの開催を想定し、大人数でのイベントなどは交流スペースでの開催を想定する。

委員：新市立図書館ではPPP・PFI・指定管理者制度の導入を検討するとあり、複合施設ではDBM方式を想定するとあるが、双方のつながりをわかりやすく説明いただきたい。

事務局（市）：複合施設の事業手法としては、定期借地権方式により公共施設部分を賃貸借することを想定していた。しかし、新市立図書館の移転が決定したため、公共施設部分は交付金を活用して市が整備し、区分所有することを想定している。

委員：DBM方式は設計・建設・維持管理運営を一体的に行う手法と聞いているが、新市立図書館にも適用するのか。

事務局（市）：新市立図書館を含む公共施設部分と民間施設部分とで同一の手法を採用することとなる。

委員：その場合は館長も民間事業者から配属されるのか。

事務局（市）：運営手法については検討中である。

事務局（TRC）：事業手法について補足させていただく。複合施設で想定されているDBM方式とはPPP手法のひとつで、設計・建設・維持管理を一括で発注するものである。運営は含まれないことから、新市立図書館の運営手法は今後庁内で検討される予定である。

委員：運営手法は決定していないとの理解で良いか。

事務局（市）：新市立図書館の整備・運営に際しては民間活力を導入するという市の方針に沿って、今後検討を進めたい。

委員：指定管理者制度は必ずしも経費削減につながらないと聞くが、今後も継続していくのか。

事務局（市）：指定管理者制度の導入についても未定である。

委員：パブリックコメントの回答が簡潔すぎるように感じる。例えば、資料の貸出期間に関する回答では「現市立図書館と同様、2週間を予定しています。」とあるが、その理由を書き添えることで、より市民の理解が得られるのではないか。

委員長：丁寧に回答してほしいとのこと、事務局は検討いただきたい。

委員：館長の公募に関する意見が挙げられているが、公募の予定はあるか。また、運営手法は未定とのことだが、今後市民意見を聴取する予定はあるか。

事務局（市）：運営手法は、市の方針に沿って費用面なども含めて検討する。市民意見の聴取については現在のところ予定していない。

委員：公募館長の退任後に運営状況が大きく変化する例がある一方で、館長が頻繁に交代しても安定的に運営される例もある。公募するか否かではなく、いかにサービスを蓄積・継続するかが重要となる。

委員長：館長とともにサービスが変わるのでは問題だろう。

委員：運営手法の検討にあたり市民意見を重視していただきたい。市の方針に沿って決定するというだけでは、市民は疎外感を感じる。市民意見に留意する旨を回答に追加するなど、検討いただきたい。

委員：複合施設への交通手段についても多くの意見が寄せられている。自身も北部地域在住のため、車を運転できなくなった場合の交通手段に不安を感じている。巡回バスを整備する予定はないとのことだが、新市立図書館をすべての市民が利用するための方策を庁内で検討いただきたい。

事務局（市）：交通手段についての意見を含むパブリックコメント結果は市長をはじめ各部署に配布し、共有している。

（２）今後のスケジュールについて

【資料説明】

事務局（市）が説明

【質疑、意見等】

委員長：現在実施中の布袋駅東複合公共施設基本計画（改定案）のパブリックコメントの結果についても今後公開する予定である。是非確認いただきたい。

委員：鉄道高架事業が遅れているようだが、平成 35 年度中の複合施設の供用開始は可能なのか。また、定期借地権方式で整備した場合、契約期間満了時に建物を収去し更地に戻すとのことだが、新市立図書館部分も同様か。

事務局（市）：鉄道高架事業の遅れについて把握はしているが、計画通り進めていきたいと考えている。契約期間満了時の対応については、継続使用という選択肢もあり、契約期間満了の 3 年前から協議を開始可能である。

委員長：その他、意見がある委員は発言を願いたい。

委員：基本計画（案）について、文言の修正を検討いただきたい。例えば、p. 89 に「多様な資料を提供」とあるが、「資料」からは紙媒体が想像されるため、「資料・情報」が適切ではないか。また、p. 82 の新市立図書館のサービス方針において「市民一人ひとりの生涯にわたる読書・学習活動を支援する」とあるが、読書・学習活動だけでなく、課題解決型の活動も含めてはどうか。

事務局（市）：指摘事項について確認の上、修正する。

委員長：基本計画（案）全体にわたって修正が必要ということか。

委員：気付いた箇所のみを挙げたため、同様の箇所があれば全体的に修正していただきたい。

委員長：計画の骨子に影響がなければ問題ないだろう。

委員：「他の町と比べても図書館が古く、小さく情けない。大きく、新しく、たくさんの本を入れてほしい。」「魅力的な新市立図書館を作れば、市民は足を運ぶと思う。」といったパブリックコメントの意見については同感である。新市立図書館の基本理念・方針が実現すれば、市民に寄り添い寄り添われる図書館となるだろう。

3. その他

【第 5 回江南市図書館基本計画策定委員会 終了】